

## ▼カプトリル錠・▼R カプセル [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】カプトリル (U) captopril 【分類】降圧剤 [ACE 阻害剤]

【単位】▼12.5mg・▼25mg/錠・▼18.75mg/Rcap

【常用量】37.5～75mg/日 [最大 150mg/日]

【用法】■錠：1日3回■R cap：1日2回

【透析患者への投与方法】非腎クリアランスは腎機能の悪化とともに低下するため1/2以下に減量する (Duchin KL, et al: Kidney Int 25: 942-947,1984)

【その他の報告】50%に減量し24hr おきに投与 (3) 50%に減量 (4) 75%に減量 (6) 半量を12時間おきに投与 (10) ACE 阻害薬の中では速効性で効果持続時間も短い非透析時のみ高血圧のある患者や透析中の高血圧にも使用しやすい可能性がある (5) 50%以下に減量し, HD 日はHD 後投与 (17) AN69 膜の使用禁忌 [3 週間あける] (1)

【PD】75%以下に減量 (17) 【CRRT】75%以下に減量 (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】GFR>50mL/min：減量の必要なし, GFR 10～50mL/min：75%に減量し12～18hr おき, GFR<10mL/min：50%に減量し24hr おき (3)

【その他の報告】高K血症に注意 (5) Ccr10mL/min以上：減量の必要なし, Ccr<10mL/min：50%に減量 (10)

Ccr>50mL/min：投与間隔を8～12hr ごと, Ccr10～50mL/min：75%に減量もしくは12hr ごと, Ccr<10mL/min：50%に減量もしくは24hr ごと (12)

Scr 3mg/dL を超える場合は減量又は投与間隔延長, GFR 50mL/min 以上：常用量, 10<GFR<50：75%に減量, GFR<10mL/min 50%に減量 (17,京)

【特徴】蛇毒由来で経口投与可能としたACE 阻害薬。作用時間が短く, 普通錠では1日3回投与が必要。

【主な副作用・毒性】高K血症, 無顆粒球症, 汎血球減少, 貧血, 発疹, 血管浮腫, 空咳, 味覚異常, ネフローゼ症候群, 急性腎不全, 狭心症, 心筋梗塞, うっ血性心不全, ショック, 胎児発育障害, 代謝能の低下 (体液量減少時), 蛋白尿, 過敏症など

【モニターすべき項目】血圧, CBC, 腎機能, 尿蛋白定性

【吸収】68～76% (11)

【F】75%以上, 食物の存在で30～55%に低下 (U) 62% (1) 65% (10) 75% (14)

【tmax】30～90min (U) 2hr (15)

【代謝】肝で代謝 (U) 腎不全患者では腎外クリアランスが50%低下する (Lam YW: et al: Clin Pharmacokinet 32: 30-57,1997) 主に極性化合物に代謝されるが disulfide dimer に自動酸化されるものもある (Gibson TP:Am J Kidney Dis 8:7-17,1986) 尿中主代謝物はシステイン混合ジスルフィド体 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率35% [po, 24hr まで] (1) 40～50% (U) 50～75% (10) 45% (14) 40～50% (12) 尿中回収率63% [po, 24hr まで] (1) 95%以上

(U) 【CL】0.8L/kg/hr [iv] (1) 5.2mL/min/kg (Gibson TP:Am J Kidney Dis 8:7-17, 1986) 12.7mL/min/kg (15) 【腎 CL】2.2mL/min/kg (Gibson TP:Am J Kidney Dis 8:7-17,1986) 【非腎 CL】3.0mL/min/kg (Gibson TP:Am J Kidney Dis 8:7-17,1986) 【腎不全患者の CL】中等度腎不全患者 5.2mL/kg/min, 透析患者の非透析時 1.6mL/min/kg, 中等度腎不全患者の非腎 CL は 3.0mL/min/kg, 透析患者の非透析時非腎 CL は 1.5mL/min/kg (Duchin KL, et al: Kidney Int 25: 942-947,1984) 【非腎 CL/総 CL】55% (10) 58% (Gibson TP:Am J Kidney Dis 8:7-17,1986)

【t1/2】3hr 以内 (U) 1.9hr (10) 1～2hr (11) 2～4hr (14) 2～3hr (12) 【透析患者の t1/2】21～32hr (2,10) 21～32hr (12)

【蛋白結合率】25～30% [主に Alb] (U,12) 30% (10) 25% (15)

【Vd】0.7L/kg (1,10) 2L/kg (14) 0.7～3L/kg (12)

【MW】217.29

【透析性】除去率20～50% (6) 35% (Duchin KL, et al: Kidney Int 25: 942-947,1984) 5% (15) 4hr の HD で40%除去 (1)

【TDM のポイント】TDM の対象にはならない 【O/W 係数】1.9 (11) LogP=2.0 [1-オクタノール/水系, pH7.4] (1) 【pKa】3.64 (1)

【効果発現時間】15～60min

【最大効果発現時間】40～90min (2～3hr という説もあり)

【効果持続時間】6～12hr, 用量依存性。

【更新日】20200408

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。